



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場取引所 東名

上場会社名 リンナイ株式会社

コード番号 5947 URL <https://www.rinnai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 額額 泰生

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	73,931	△6.7	4,532	△18.4	5,069	△22.0	3,284	△20.1
2019年3月期第1四半期	79,266	4.2	5,553	△14.0	6,495	△8.4	4,108	△9.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,929百万円 (297.6%) 2019年3月期第1四半期 736百万円 (△87.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	63.89	—
2019年3月期第1四半期	79.94	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	428,546	322,022	70.0
2019年3月期	430,885	320,696	69.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 299,868百万円 2019年3月期 299,136百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	46.00	—	48.00	94.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	48.00	—	48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	164,000	0.8	11,500	△6.8	12,100	△14.5	7,700	△12.5	149.81
通期	356,000	2.3	32,000	3.6	34,000	2.0	21,000	2.5	408.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	51,616,463 株	2019年3月期	51,616,463 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	217,028 株	2019年3月期	216,771 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	51,399,552 株	2019年3月期1Q	51,400,044 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2019年8月6日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかに景気が回復しているものの、欧州や中国での経済成長の鈍化や米中間の通商問題など、不透明感が高まりつつあります。また国内経済においては、企業収益の改善や個人消費が持ち直すなど回復基調が続きました。

国内の住宅関連業界は、新設住宅着工戸数において賃貸住宅を中心に伸びが鈍化していることに加え、住宅設備機器の買替えには力強さがなく、弱含みの情勢が続きました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「G－s h i f t 2020」の2年目を迎え、「熱と暮らし」「健康と暮らし」をキーワードに、グローバル市場で生活レベルの向上に寄与していくことや、既存商品やサービスの提供だけでなく、自社のコア技術に新しい技術を取り込み応用発展させた独自の商品・サービスを創出すべく取り組みを進めてまいりました。販売面につきましては、中国や韓国などの給湯事業が前年を下回り減収となりました。損益面は、国内において原価低減効果があったものの、海外での減収影響や資材費が増加したことなどによって、当社グループの営業利益は減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高739億31百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益45億32百万円（前年同期比18.4%減）、経常利益50億69百万円（前年同期比22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億84百万円（前年同期比20.1%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

給湯機器の市場縮小によって給湯単能機やふる給湯器の販売が減少し、日本の売上高は385億33百万円（前年同期比0.3%減）となりましたが、昨年、新商品を発売したビルトインコンロや衣類乾燥機のコスト改善効果により営業利益は32億19百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

〈アメリカ〉

利便性の高いタンクレス給湯器が認知拡大していることに加え、ハイグレードの商品となる高効率給湯器の割合が増えていることによってアメリカの売上高は77億95百万円（前年同期比12.3%増）となりましたが、仕入コストの負担が増したことにより営業利益は2億30百万円（前年同期比43.1%減）となりました。

〈オーストラリア〉

主力商品となるタンクレス給湯器の販売好調に加え、貯湯式給湯器の全国展開や取り扱い店舗の拡大によるエアコン販売が順調で、オーストラリアの売上高は54億36百万円（前年同期比9.5%増）となりました。しかし現地通貨安による仕入コストの上昇や現地生産拡大費用の増加により、81百万円の営業損失となりました。

〈中国〉

景気減速に伴う住宅設備市場の悪化により給湯器の販売が減少したことや、農村部におけるボイラー需要が一巡したことによる反動で中国の売上高は78億88百万円（前年同期比36.3%減）、営業利益は4億53百万円（前年同期比57.1%減）となりました。

〈韓国〉

景気低迷による市場の縮小や他社の安価攻勢により主力商品であるガスコンロやボイラーの販売が減少し、韓国の売上高は75億42百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は57百万円（前年同期比82.8%減）となりました。

〈インドネシア〉

テーブルコンロの市場は上向きではあるものの、流通在庫の調整が働き販売台数は減少したことにより、インドネシアの売上高は21億52百万円（前年同期比16.6%減）、営業利益は2億8百万円（前年同期比30.7%減）となりました。

## (参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第1四半期 (2018年4月1日～ 6月30日)		当第1四半期 (2019年4月1日～ 6月30日)		増 減		前期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	47,855	60.4	42,989	58.1	△4,865	△10.2	202,630	58.2
厨房機器	19,389	24.5	18,698	25.3	△691	△3.6	88,322	25.4
空調機器	2,940	3.7	3,421	4.6	480	16.3	19,642	5.6
業用機器	2,259	2.9	1,818	2.5	△440	△19.5	8,452	2.4
その他	6,821	8.6	7,003	9.5	181	2.7	28,974	8.3
合 計	79,266	100.0	73,931	100.0	△5,335	△6.7	348,022	100.0

## (参考2) 海外売上高

	前第1四半期 (2018年4月1日～6月30日)			当第1四半期 (2019年4月1日～6月30日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	27,985	14,593	42,578	21,398	15,862	37,260
II 連結売上高 (百万円)	—	—	79,266	—	—	73,931
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	35.3	18.4	53.7	28.9	21.5	50.4

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億39百万円減少し、4,285億46百万円となりました。また、負債は36億65百万円減少し1,065億23百万円となりました。純資産につきましては、13億26百万円増加し3,220億22百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は70.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	140,264	149,574
受取手形及び売掛金	67,687	62,034
電子記録債権	9,290	8,083
有価証券	17,126	9,532
商品及び製品	28,988	31,876
原材料及び貯蔵品	16,728	17,147
その他	2,281	3,181
貸倒引当金	△1,476	△1,663
流動資産合計	280,891	279,766
固定資産		
有形固定資産	82,854	86,008
無形固定資産	5,743	3,773
投資その他の資産		
投資有価証券	36,912	34,117
その他	24,541	24,937
貸倒引当金	△58	△57
投資その他の資産合計	61,395	58,997
固定資産合計	149,993	148,780
資産合計	430,885	428,546
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,446	18,755
電子記録債務	32,057	28,761
未払法人税等	4,863	3,012
賞与引当金	4,540	2,052
製品保証引当金	3,947	3,861
その他の引当金	916	720
その他	21,577	27,417
流動負債合計	88,350	84,580
固定負債		
環境対策引当金	2,255	2,255
その他の引当金	109	97
退職給付に係る負債	10,401	10,360
その他	9,073	9,229
固定負債合計	21,838	21,942
負債合計	110,188	106,523
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,756	8,756
利益剰余金	276,143	277,997
自己株式	△1,864	△1,865
株主資本合計	289,495	291,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,599	4,507
為替換算調整勘定	△488	△276
退職給付に係る調整累計額	4,529	4,289
その他の包括利益累計額合計	9,640	8,520
非支配株主持分	21,560	22,153
純資産合計	320,696	322,022
負債純資産合計	430,885	428,546

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	79,266	73,931
売上原価	52,415	50,571
売上総利益	26,850	23,359
販売費及び一般管理費	21,297	18,826
営業利益	5,553	4,532
営業外収益		
受取利息	242	365
受取配当金	342	252
為替差益	111	-
その他	271	238
営業外収益合計	967	855
営業外費用		
支払利息	0	11
為替差損	-	203
固定資産除却損	19	79
その他	5	24
営業外費用合計	25	319
経常利益	6,495	5,069
特別利益		
補助金収入	69	-
特別利益合計	69	-
特別損失		
固定資産圧縮損	69	-
特別損失合計	69	-
税金等調整前四半期純利益	6,495	5,069
法人税、住民税及び事業税	2,860	2,278
法人税等調整額	△1,199	△946
法人税等合計	1,660	1,332
四半期純利益	4,834	3,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	725	452
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,108	3,284

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	4,834	3,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	560	△1,093
為替換算調整勘定	△4,538	526
退職給付に係る調整額	△119	△240
その他の包括利益合計	△4,097	△807
四半期包括利益	736	2,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	2,161
非支配株主に係る四半期包括利益	10	768



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オーストラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	38,644	6,939	4,963	12,380	8,855	2,581	74,364	4,902	-	79,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,823	-	25	352	217	131	10,551	665	△11,217	-
計	48,468	6,939	4,988	12,732	9,072	2,713	84,915	5,568	△11,217	79,266
セグメント利益	2,614	405	169	1,056	336	300	4,882	724	△53	5,553

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オーストラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	38,533	7,795	5,436	7,888	7,542	2,152	69,349	4,582	-	73,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,629	-	25	320	167	133	10,275	511	△10,786	-
計	48,162	7,795	5,461	8,209	7,709	2,285	79,624	5,093	△10,786	73,931
セグメント利益又は 損失(△)	3,219	230	△81	453	57	208	4,087	649	△204	4,532

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。